



平成30年度 新城地域自治区予算事業 **さんさく**
しんしろまちなか散策マップ
 しんしろ城下町の会



1 しんしろじょうあと
新城城跡
 天正3年(1575年)の長篠・設楽原の戦いの功績により奥平昌昌が築城。城の名は付いてはいるが、実際は平屋建て陣屋であったという。

2 しんしろじょうじょう
新城尋常高等小学校跡
 明治20年(1887年)に開校した。この木造校舎は、大正4年(1915年)に建て替えられたもので、昭和55年(1980年)まで使われていた。

7 へいきちだいみょうじん
平吉大明神
 厳島神社の鳥居をくぐって右側に祀られている神様。新城昔ばなし365話(以下「365話」という)、この神様に病気がかかった人がお願いすると治ったという話が残る。



8 いづくしじんじや
厳島神社
 弁天橋のすぐ脇にある神社。天明5年(1785年)天明の犬吠騒の折に雨乞いのために建てられたという説が有力である。



13 しんしろじょうじょう
新城高等女学校跡
 新城中学校の校舎の北に当時の校舎の一部が現存する。戦時中は、講堂等が軍需工場として利用された。

14 新城農業学校跡
 新城高校(平成31年4月から新城有教館高校)敷地にあった。当時の建物は既になが、真実剛健の校訓は、新城高校に受け継がれている。



3 おおたはくせつくぐみい
太田白雪句碑
 初時や かくろくはふめと 足の跡
 太田白雪は、本町出身の江戸時代の俳人で、31歳の時に松尾芭蕉を鳳来寺山に案内して以降、門下となった。

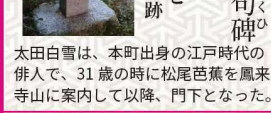


9 はちまんじんじや
八幡神社
 東新町、弁天、沖野、八幡の地域の氏神様。祭神は菅田別命。御神木である大スギは樹齢約700年で市指定文化財(天然記念物)である。

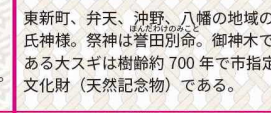


15 かんれんどう
観音堂
 彌勒菩薩が祀られているお堂。彌勒菩薩【おみろくさま】は、365話に、汗かき彌勒の話が残る。また、観音堂前の六地藏の脇にある石塔にまつわる365話で、眼病を防ぐ石塔の話が残っている。観音堂前の十王堂を覗くと、冥土の様子を垣間見ることができる。

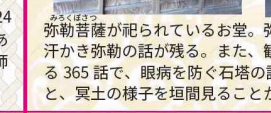
16 たまぢのしみづ
田町の清水
 新城文化会館裏駐車場の北側にある湧水。かつては、近隣住民がここで野菜を洗ったり洗濯をしたりしていた。現在「田町の清水を守る会」が定期的にこの場所を清掃している。



5 みょうけんどう
妙見堂
 慶安元年(1648年)新城城主菅沼定実が丹波亀山から移された際、新城城の鬼門除けとして祀られた。



11 あきはじんじや
秋葉神社
 火の神様をお祀りしている神社。市指定無形文化財の立物花火の卒はここに保管されている。



17 こんたいじ
金胎寺
 365話で金胎寺の和尚さまの話が残る。昔ばなしにまつわる白髭大権現の像が祀られている。

18 とみながじんじや
富永神社
 西新町、本町、入船、中町、栄町、橋向の地区的氏神様。祭神は須佐之男命。境内の能楽殿は、市指定文化財で、祭礼能は市指定無形文化財である。365話に白へび様の話が残っている。



6 しんがしあ
新河岸跡
 江戸時代の初め頃、この場所に船便による湊ができ、新河岸と名付けられた。その目印として当時植えられたムクの木が今も残っている。



12 よこちようさんかくい
横町の三角井戸
 東新町で現在も利用されているという共同井戸。昔はまちなかにこのような共同井戸が多くあった。



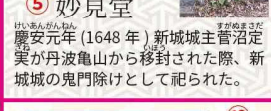
27 そうけんじ
宗堅寺
 新城藩主菅沼家の菩提寺。武田信玄を撃つとされる「信玄砲」がこの宗堅寺に保管されている。元亀4年(1573年)、武田信玄が3万の兵を率いて野田城を攻めた折、夜に笛の音に誘われて城の近くまで来た信玄を、火縄銃の名手が撃つという伝説があり、使われた火縄銃がこの「信玄砲」である。また、新城城主菅沼家の重臣、池田寛頼が書いた、「船長日記」が発見されたのもこの宗堅寺である。この日記は半田の船頭重吉を主人公とする、船給管業丸の484日に及ぶ太平洋漂流記である。

28 じょうせんじ
浄泉寺
 鳥居強右衛門と共に長篠城を脱出した鈴木金七郎家の菩提寺とされる。元禄元年(1592年)吉田城主池田輝政の家老で新城城主であった片桐半右衛門により創建された。四季桜がとても美しいことで有名。

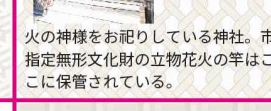


桜淵の名称 発祥の地
 新城市字桜淵の地名が今も残る

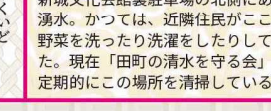
制作 しんしろ城下町の会
 協力 浅野写真館
 新城市役所 企画部 新城自治振興事務所
 TEL 0536-23-7697



20 しやうとくのかい
頌徳之碑
 初代新城橋を架けるために奔走した人々の功績が記された。初代新城橋は民費で架けられた。



21 いづくしじんじや
厳島神社
 東西の伊那街道と南北の孝母街道が交差する地に建てられた道標。現在残っているこの道標は明治37年(1904年)に建て替えられたもの。



22 ばしやうくみ
芭蕉句碑
 京に飽きて 此こからしや 冬住居
 松尾芭蕉が奥の細道の旅を終えて2年半ぶりに江戸へ帰る途中新城の太田白雪を訪れた際に詠んだ句。庚申寺境内にある。

23 こうしんじ
庚申寺
 曹洞宗の寺院。365話でお殿様が建てた庚申堂の話が残る。境内の三猿が有名なお寺。

しんしろの寺まち

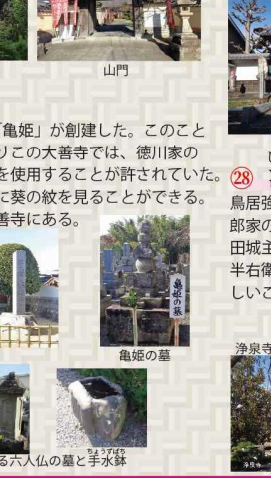
長篠・設楽原の戦いのおいがするしんしろの寺まち

24 えいじゆうじ
永住寺
 長篠・設楽原の戦いの功績で新城城を築いた。奥平昌昌。その父、奥平貞能が創建。太田白雪の善提寺でもある。山門のクロマツはとても大きく見る者を圧倒する。太田白雪句碑は、旧新城町役場の門柱を加工してつくられている。また本堂西の太田白雪の墓碑には、辞世の句が刻まれている。また、山門をくぐると、365話にある妙見様と亀の石碑がある。

25 どうぎゆうじ
桃牛寺
 365話「桃牛寺の門」の話によれば、桃牛寺の山門は長篠城にあった門(彈正門)を移築したものであり、門の左側の扉にある銃弾の跡は、長篠の戦いの時、武田軍が撃った弾痕である。なお当時の長篠城の建物で現存するのは、この山門のみである。また、徳川家康の長女で新城城主奥平昌昌の妻「亀姫」の屋敷の門がこの桃牛寺にあったが、現在は長篠城址史跡保存館にある。

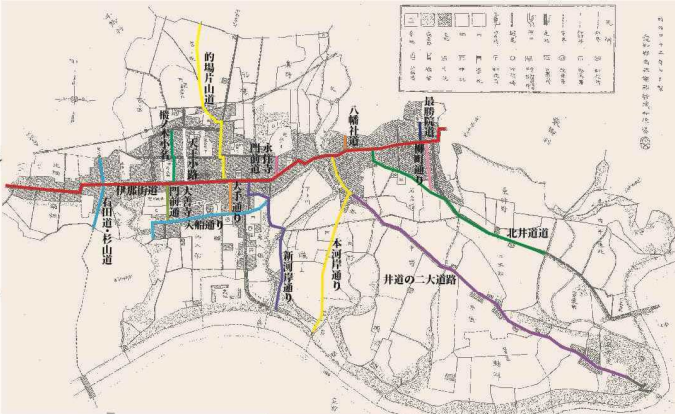
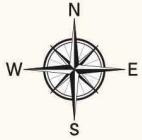
26 だいぜんじ
大善寺
 徳川家康の長女、「亀姫」が創建した。このことから、江戸時代よりこの大善寺では、徳川家の家紋である葵の紋を使用することが許されていた。現在も山門や土塀に葵の紋を見ることができる。亀姫の墓もこの大善寺にある。

27 そうけんじ
宗堅寺
 新城藩主菅沼家の菩提寺。武田信玄を撃つとされる「信玄砲」がこの宗堅寺に保管されている。元亀4年(1573年)、武田信玄が3万の兵を率いて野田城を攻めた折、夜に笛の音に誘われて城の近くまで来た信玄を、火縄銃の名手が撃つという伝説があり、使われた火縄銃がこの「信玄砲」である。また、新城城主菅沼家の重臣、池田寛頼が書いた、「船長日記」が発見されたのもこの宗堅寺である。この日記は半田の船頭重吉を主人公とする、船給管業丸の484日に及ぶ太平洋漂流記である。



しんしろ まちなか 散策マップ

しんしろ城下町の姿



新城町と古い道

明治四十五年、まだの地域が新城町と呼ばれていた時代の地図
この地図に古い道を記しました。現在の地図と見くらべながら
昔の道を探してみよう。

新城町教育委員会 新城昔ばなし 365話より引用

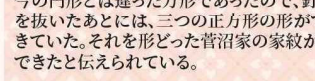
↑この目印のある地には、昔ばなしの言い
伝えがあります。地図を見ながら、別冊の
小冊子「新城昔ばなし365話」しんしろ
まちなか編を読んでみよう。
新城むかし話365話は、新城図書館で
借りることができます。

能楽殿は文政9年(1826年)に建てられたもので、新城町指定文化財である。また、10月1日の秋祭りの日、能楽から日舞にかけて、町民が行われる。新築に行われる祭礼は、この能楽殿文化財に指定されている。

天正4年(1576年)、新城に石田三成が居た。三成は、新城の地をめぐり、城の周囲の地を領し、城を築いた。今は残っていない。

「みつくぎぬき(三釘貫)の由来

昔、菅沼家の祖先に新八郎貞長という大方の武士がいて、京都勤番中に天皇の前に召し出され、その力をご覧に入れた。その時、厚い板に深々と打ち込まれている3本の大きな釘を、一気に引き抜いて、大ぜいの人々の賞賛を浴びたという。昔の釘の断面は、今の円形とは違った方形であったので、釘を抜いたあとには、三つの正方形の形ができていた。それを形どった菅沼家の家紋ができたといわれている。



その他の碑等

公宣桜碑
丸山翁銅像
さつまいまの増産技術を全国に広めた人物。東新町に養子入りしており、地域の誇る偉人である。



慰霊碑

忠魂碑
この地から日清・日露戦争に出陣し、戦死された方々の慰霊碑



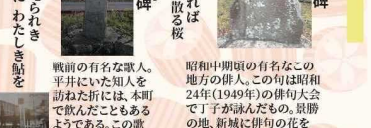
山崎多比良歌碑

戦前の有名な歌人。昭和三十五年(1960年)永住寺の山門に山崎多比良の太田白雪句碑が建てられたが、その石碑は旧新城町役場の門柱の一方である



文学碑

市川丁字句碑
昭和中前期の有名なこの地方の俳人。この句は昭和24年(1949年)の俳句大会で丁字句選んだもの。景勝の地、新城に俳句の花を咲かせようとしてこの句碑が建立された。



秋葉山常夜燈

- 29 東新町常夜燈
- 30 西新町常夜燈
- 31 本町入船常夜燈
- 32 中町常夜燈
- 33 的場常夜燈
- 34 橋向常夜燈
- 35 境内常夜燈



桜淵石碑群

文字碑と慰霊碑に会いに行きませんか

